
JPA事務局ニュース <No.162> 2014年9月2日

>>>
>>>
<発行> 一般社団法人 日本難病・疾病団体協議会(JPA)事務局
発行責任者/水谷幸司
〒162-0822 東京都新宿区下宮比町 2-28 飯田橋ハイタウン 610号
TEL03-6280-7734 FAX03-6280-7735 jpa@ia2.itkeeper.ne.jp
JPAホームページ <http://www.nanbyo.jp/>

☆JPA近畿ブロック交流会を京都で開催 5ブロックの先頭を切って、6難病連から100名が集う

8月30、31日、5ブロックの先頭をきって、JPA近畿ブロック交流集会在京都市で開催されました。

1日目は、なごやかなムードの京都ひまわり合唱団による合唱から始まり、京都大学研究所臨床応用研究部門の櫻井英俊先生の講演「iPS細胞の現状と今後の展望」、続



いて厚生労働省健康局疾病対策課の小澤課長補佐、川田主査の「新しい難病対策の具体的な内容」についての説明など、たいへん中身の濃い内容が続きました。参加者も開催地の京都をはじめ、滋賀、大阪、兵庫、奈良、和歌山の各難病連から100名になり大いに盛り上がりました。

厚生労働省の説明には、参加者より、指定難病の定義について、重症度基準の決め方について、指定難病の定義に入らなかった疾患への対応について、更新の時期について、など、多くの質問、意見が出されました。



2日目は、水谷 JPA 事務局長が、分科会(難病対策)に参加するとともに、全体集会で30分ほど講演を行いました。水谷事務局長は難病対策の施行にむけての課題とともに、地域医療・介護計画の全体像や、難病以外の多くの地域患者組織にも視野を広げて運動することの大切さ、これからの医療の課題について語りました。

分科会は、他に「患者交流」と「就労支援と体験」のテーマでも行いました。

最後に、次期開催地、大阪難病連の高橋さんが閉会のあいさつを行い終了しました。

難病対策や医療制度全体や介護や福祉制度のこと、またはこれからの患者会のあり方などさまざまな課題が次から次と降ってくる中で、私たちも置いていかれないようにしっかり勉強していかないとはいけません、そういう中でとても大切なブロック交流集会ではなかったかと思えます。

(藤原 勝)



■ブロック交流会での厚生労働省の説明資料は、JPAホームページに掲載しています。

今後毎週開かれるブロック交流会の様子と資料もニュースとホームページで紹介していきますので、お役立てください。(水谷幸司)

■JPAの活動継続のために、財政活動にご協力とご支援をお願いします

難病法の施行にむけて、このニュースの発行をはじめ各方面に活動を広めていくことが必要になっていますが、その一方で、財政的にはJPAは逼迫した状況にあります。

活動の継続のために、みなさまのご協力をお願いいたします。

○協力会員 1口 3000円(何口でも)

○賛助会員 1口 20000円(何口でも)

主に団体向けですが、個人の方でももちろん歓迎します。

○一般寄付 こちらも随時お受けいたします。

※協力会員、賛助会員、ご寄付(3000円以上)をいただいた方には、「JPAの仲間」(年4回発行)を、1年間、毎号お届けします。

◎郵便振替口座をご利用の場合

口座番号 00130-4-354104 加入者名 社)日本難病・疾病団体協議会

※通信欄に会費の種別または寄付とご記入ください。

※郵便振込用紙は郵便局にあります、必要な方にはお送りしますので事務局までご連絡ください。

◎銀行口座をご利用の場合

みずほ銀行飯田橋支店 普通預金 口座番号 2553432

加入者名 一般社団法人日本難病・疾病団体協議会

※銀行振込の場合は通信欄がないため、別途メール、FAXにて送金内容を事務局までご連絡をお願いいたします。

◎JPAホームページからクレジット決済でも協力会員、賛助会員の申込みができます。

トップページにあるバナーから、「協力会員募集」をクリックしてください。
